

# 第4回庁舎周辺まちづくりプラン（仮称）等検討委員会の報告（1/2）

令和8年（2026年）3月5日  
庁舎建設課、庁舎周辺まちづくり課

資料4

議会でのご審議を踏まえ、取りまとめた「(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン 骨子案」については、検討委員会にてご了承いただいた上で、今後、プランの策定や各種施策に落とし込む段階において重視すべき観点や検討すべき内容についてご意見をいただきました。

※当日の資料については参考資料2を参照

## ■特別委員会(R7年12月8日及びR8年1月22日)での主なご意見と対応状況(基礎調査について)

	主なご意見	対応状況
1	自然動態や社会動態別の人口について、これまでの推移のみならず、将来推計についても把握すべき。	「熊本市の人口推移と推計」の基礎調査資料について、市全体の自然増減と転入超過の将来推計のグラフを追加（参考資料 検討委 参2-2）。
2	商業についての現況として、オフィスや店舗の空き状況などの現状分析も必要。	新たに「商業・サービス業」の 카테고리を設け、基礎調査の各資料を追加。（資料3、参考資料 検討委 参2-4）
3	観光についての現況として、ホテルの稼働状況、需要分析が必要。	「観光・産業」の カテゴリに、基礎調査の各資料を追加（参考資料 検討委 参2-3）。ホテルの需要分析等に関しては、引き続き調査を進めていく。

## ■第4回検討委員会(R8年2月6日)での主なご意見と対応状況((仮称)庁舎周辺まちづくりプラン骨子案について)

	主なご意見	対応状況
1	公共交通施策に関しては、引き続き、県と市が連携しながら議論を進めていくが、今後の議論の状況を踏まえながら、まちづくりプランにも反映していけると良い。	まちづくりプランは、県市の取組の状況を踏まえながら、策定をしていく。
2	市民アンケート結果において、対象地区内に「商業施設」を望む意見が多かったが、市が積極的に支援する場合、既存の商業施設と競合しない、地区全体の価値や魅力を高めるような施設であることが重要。	まちづくりプランの策定及びプランに基づく各種施策の検討において、重要な観点とする。
3	市民アンケート結果において、現庁舎跡地の使い方として駐車場という意見も多いが、この場所にふさわしいか疑問。市民アンケート結果から、そのまま選びますという形ではなく、ここから積み重ねていくことが大事。	現庁舎跡地については、市民の皆様はもちろんのこと、様々な主体のご意見や市の政策・施策の方向性等を踏まえながら、本市の目指すべきまちの姿にふさわしい在り方を検討していく。
4	上乃裏地区のように、地域の方が起こしたまちが、数年たち文化的なものにもなる。一般的な大きな商業を誘致することも大事だと思うが、スタートアップ支援など、若者が率先して新たなチャレンジができる取組も重要。	まちづくりプランの策定及びプランに基づく各種施策の検討において、重要な観点とする。
5	今後の公共交通の議論の中では、料金体系の工夫など、公共交通をもっと使いやすくする観点も重要。	公共交通の料金体系の見直しについては、現在取り組んでいる地域公共交通の再構築に向けた検討の中で議論していく。
6	インバウンド需要によるまちなかの大型観光バスの乗降スペース（特に朝方の客待ちの停車スペース等）の不足を感じており、今後どのように確保していくかが課題。	まちなかの観光バス駐車場については、夜間に留め置きができる場所が不足していることから令和8年4月から桜の馬場バス駐車場の供用時間を24時間に変更することとしている。乗降スペースの不足についても、観光関連事業者の方からもお声をいただいていることから、今後、関係機関と連携し検討を進めていきたいと考えている。
7	「まちづくりの視点と将来像」において、現時点では「視点」が4つ並列で書かれているが、この4つの関係性や、どのようなステップで「将来像」につながっていくかなど、市民に分かりやすく説明し、共有していくことが重要。	まちづくりプランにおいては、まちづくりの視点と将来像の関係性を示すイメージ図を示す等、市民に皆様にわかりやすいものとなるよう工夫していく。
8	既存の魅力と新しいものの両面を活かしてまちづくりを進めることが大事。既存のお店がなくなると、まちなかの個性が消え、魅力がなくなっていく。その結果、郊外のショッピングモールに行く。そういった状況が全国で展開されている。	骨子案P12「取組の方向性」に示すとおり、中心商店街エリアを「まちのコンテンツを充実させ、まちの個性を引き出す投資を誘発する役割を担う」エリアとして既に位置付けているところであり、プラン策定において重要な観点とする。
9	上通方面への回遊ネットワークなど、今後のプラン策定の中で反映してほしい。	骨子案P12「取組の方向性」の方針図においても、上通方面への賑わい・波及のイメージについて記載しているところであるが、今後も、まちづくりプランの策定及びプランに基づく各種施策の検討において重要な観点とする。
10	今後のプラン策定にあたっては、「基礎調査」と「まちづくりの視点と将来像」とのつながりが分かりやすくなるよう工夫が必要。	「まちづくりの視点と将来像」は、基礎調査の各分野で明らかになった様々な課題などを包括的にとらえ導き出したものであるが、ご指摘を受けて、できるだけ関係性がわかるような工夫を検討する。
11	まちなかのオープンスペースは、商業イベントを中心とした広場、いわゆる店舗の屋外版のようなものではなく、都市文化や市民活動を支えるスペースになるべき。	まちづくりプランの策定及びプランに基づく各種施策の検討において、重要な観点とする。

「熊本市新庁舎整備基本計画 素案」については、検討委員会にて内容について概ねご了承いただいた上で、追記すべきものや今後の検討内容等についてご意見をいただいた。

※当日の資料については参考資料2を参照

### ■主なご意見と対応状況(熊本市新庁舎整備基本計画 素案について)

	主なご意見	対応状況
1	コンセプトに熊本城が入っていることがすばらしい。工事金額の増加などの状況を見ながらにはなるだろうが、熊本の新たな重要スポットとして市民が満足でき、誇りになるものにしてもらいたい。	今後、仮に工事費増の要因で規模等を見直す場合も、分科会での議論の経緯や委員の思いを踏まえ、市民の誇りとなるような施設を目指す。
2	低層部のスペースを災害時にどのように活用していくのかをしっかりと市民に示してもらいたい。	基本計画には第4章1（6）に災害時の低層部のスペース活用について記載していますが、より分かり易くなるよう記載内容を検討する。
3	横浜市役所の庁舎は3階以上のフロアは職員の顔が見えない構造になっている。熊本市が考える新庁舎は、セキュリティを確保しつつも交流共創スペースが様々な場所に入りこむ想定をしている点が素晴らしい。	新庁舎は、セキュリティ確保を図りつつ市民と職員の交流共創が進むよう今後配置等の計画を進める。
4	今後も市職員の意見を取り入れ、クリエイティブに働ける環境づくりを進めてもらいたい。それが市民サービスの向上にもつながる。	基本計画の検討にあたり、職員アンケートや若手職員ワークショップなどを開催し、意見を取り入れた。新庁舎は、職員間コミュニケーションを活性化させ、個人・組織の能力を最大限引き出し、質の高い行政サービスが提供できる執務環境の形成を目指す。
5	庁舎整備基本計画において示された回遊や交通に関する考え方については、まちづくりプランを踏まえたものか？	回遊性については、まちづくりプランの骨子案に示された方向性に基づき、記載している。 交通については、交通に関する会議体等で様々な議論がなされているところであり、その状況を踏まえながら、庁内関係部署や関係機関と連携しながら検討を進める。
6	本庁舎駐車場は、出入口が1か所しかないため、災害時の対応に支障がないか検討が必要ではないか。	新庁舎は、災害時において隣接する「くまもと街なか広場」と連携することとしており、自衛隊・消防等の車両配置・活動場所についても、当該広場の活用が想定されている。その上で、駐車場の出入口について、災害時の対応に支障がないか検証を進める。
7	中央区役所に北側から来る車両動線は、電車通りを右折することを想定しているようだが、交通への影響を十分検証し、規制や政策を議論することが必要である	今後、動的解析を行い、交通への影響について検証を行う予定。その上で、必要な対応について検討を進める。
8	熊本桜町ビルと本庁舎・議会を屋上でつなぐこともまちの回遊性向上に寄与すると思うが、そのことが記載されていない。	基本計画の「周辺整備」に、回遊性向上を目指した整備の一つとして、桜町ビルとの屋上レベルでの接続について記載する。